



令和元年度学校評価アンケートの結果報告につて

日頃は、本校の教育にご理解ご支援をいただき、ありがとうございます。

さて、2学期末にご協力いただきました「学校評価アンケート」及び「児童アンケート」、「教職員アンケート」の集約結果を「令和元年度学校評価・学校自己評価一覧表」【別紙】として取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

また、集約結果を受けての考察、及び今後の取り組みの改善方法など以下のとおりまとめましたのでご覧ください。

①家庭学習の充実【児童:91.2%・保護者:91.1%・教職員:93.8%】

ほとんどの子ども達が毎日忘れずに家庭学習をしています。気になるポイントとしては、昨年からの課題であった個人差(できていない子どもが固定化しつつある)が解消されていないことです。学校では、授業以外の「朝の学習」「自主学習」「家庭学習(宿題)」を3本の柱として、主体的な学習態度の育成に取り組み、少しずつですが授業に対する姿勢には表れてきています。家庭学習は、保護者の方のご協力もあるのですが、伸び悩んでいるのが現状です。学習のてびきなどで子ども達には丁寧な指導を継続していきたいと思いますので、引き続きご家庭での温かい見守りをよろしくお願いします。



②学び合いを基盤とした問題解決学習【児童:98.2%・教職員:87.5%】

学び合いを基にした問題解決的な学習を充実させるために、ホワイトボードやタブレットの活用など授業を工夫したり、チーム・ティーチング指導や少人数指導を充実させたりして、継続して取り組みを進めてきました。子ども達は、ホワイトボード等を使った授業に意欲的に取り組んでくれています。教職員は、新学習指導要領の実施やタブレットの本格的導入など、これから新たにに取り組むことについていい緊張感をもって準備していることが厳しい自己評価からうかがえます。



③人権教育の推進【児童:100%・保護者:99.2%・教職員:96.9%】

人権教育は、教職員が学校生活の中で常に意識している大切なポイントです。いじめ調査や教育相談を学期に1回は必ず行い、子ども達の実態把握をしたり、道徳や学活を中心に主体的に子ども達が活動できる心豊かな学年・学級集団づくりを進めたりしてきました。その結果、「いじめや差別は絶対いけない」ことに肯定的な回答が100%になりました。今後も、子ども達を「ほめる」「励ます」「認める」などの肯定的な評価をして、自己有用感を高めるとともに、人権意識も高められるよう取り組みを継続していきます。



④規範意識の向上【児童:93.8%・保護者:98.6%・教職員:87.5%】

学校では、「はづきたのやくそく」や「けやきっ子十か条」を基に指導をしてきました。学習のルールも大切ですが、日々の生活の中でお互いが気持ちよく生活できる環境をつくるためにも生活のルールを意識することは欠かせません。今年度も、児童会の「月別生活目標」と「けやきっ子十か条」を連携したり、全校集会で伝えたりして取り組んだことが落ち着いた学校を維持できている要因の一つであると思います。また、教職員は現状で満足することなく「落ち着いている今だからこそできること」を意識し、更にいい環境を目指そうとする思いが自己評価には表れています。今後も「当たり前」のことが「当たり前」でできるすてきな学校を目指し、朝の会や帰りの会にルールやけやきっ子十か条の意識づけや振り返りを行い、取り組みを継続していきたいと思います。



⑤基礎体力・運動能力の向上 好き【児童:86.4% ・保護者:84.3% ・教職員:96.9%】

頑張る【児童:96.7% ・保護者:84.3% ・教職員:96.9%】

基礎体力や運動能力は健やかな成長をするためにも大切な「力」の一つです。学校では体育の時間を中心に体を動かすことの楽しさや喜びを味わうとともに、学級遊び、業間マラソン、縄跳びなどの取り組みも進めてきました。授業では「めあて」や「振り返り」の提示、主体的に取り組むためのワークシートや言葉かけ、縄跳び台など意欲を高める教具など工夫して取り組みを進めてきた結果、運動を頑張っている児童が増えています。今後も体力向上委員会の取り組みなどを充実させ、更に体力づくりを推進していきたいと思います。



⑥情報発信の充実【保護者:91.5% ・教職員:100%】



学校と地域、保護者が協力し、子ども達に対して効果的な教育活動ができるようにするためには学校からの情報発信はとても大切です。学校だより・学年だより・ホームページ・学級通信など学校からの情報発信については一定の評価をいただいていると思います。例えばホームページは平成 30 年 5 月にリニューアルしてから現在まで 105,000 回(1日平均 175 回)以上のアクセスがありました。近年、ICT 機器等の発達により情報発信の手段が多様化してきている中、教職員も新しいことにチャレンジしていますが、技術革新のスピードの速さや専門的な知識の習得など、まだまだ技術的・内容的にも不十分な部分があるかと思います。より伝わりやすい情報の発信方法を工夫し、質の高い情報発信に向けて更に努力していきますので、ご理解ご協力よろしくお願いします。

《アンケートの集約を終えて》

貴重なご意見ありがとうございました。今回の集約結果を見てみると、児童アンケートでは、20 項目のうち 11 項目が過去 3 年間で一番高い値になっています。この結果は、本校の教職員が日々真面目に子ども達と向き合ってきたことが、少しずつですが取り組みの成果として出てきたものであると感じています。子ども達が、安全で安心して過ごし、「学校は楽しい」と感じてもらえることこそ何より学校が大切にすべきであると改めて思います。

また、児童のアンケート集約結果と同時に注目してほしいのは、教職員のアンケート集約結果です。特に今年度から来年度にかけては新学習指導要領への移行期でもあり、外国語教育やキャリア教育、プログラミング教育、タブレットをはじめとする ICT 機器の導入など盛りだくさんになっています。そのため、本校の取り組みの重点 1「共に学び、確かな学力を獲得する授業の構築」では、ほとんどの項目が過去 3 年間で一番低い値になっています。この結果が意味すること、そして、何よりお伝えしたいことは、「現状に満足することなく、更に上を目指そうとする教職員の意欲」です。子ども達が満足することに加え、将来を見据えた指導について地道に努力する必要性を感じているために厳しい自己評価につながったのです。これは、来年度に向けて本校教職員の大きな課題であり目標として取り組みを進めて行きたいと思います。

その他にも集約をする中で、新たに見えてきたことやいくつかの取り組みの方向性が正しかったことを確認することができました。今回、確認できたことを来年度の学校づくりビジョンの中にもきちんと位置づけ、取り組みを進めていきたいと思います。特に「新たに見えてきたこと」や「取り組みの方向性」を修正する必要があるものについては、コミュニティスクールの委員の皆さんによる「学校関係者評価」ともすり合わせながら、本校教職員全員で検討し、令和 2 年度がスムーズにスタートできるよう準備していきたいと考えています。

また、ご回答が必要なものにつきましては、学校だより等でその都度発信させていただきたいと思いますし、本校の教育活動をより良いものにするためにも、直接お問い合わせいただきますようお願いします。

